はこだて国際科学祭2009
実施報告

サイエンス・サポート函館

はこだて国際
科学祭
www.sciencefestival.jp

はこだて国際科学祭2009

テーマ「函館から地球の環境を考える」

会期：2009年8月22日（土）～30日（日）

会場：北海道函館市

西部地区, 五稜郭地区, 湯の川地区

主催：サイエンス・サポート函館

[参加機関]

函館市, 公立はこだて未来大学, 函館工業高等専門学校, 北海道教育大学函館校,
北海道大学大学院水産科学研究院・水産科学院・水産学部, キャンパス・コンソーシアム函館,
南北海道学術振興財団, 函館市地域交流まちづくりセンター,
青少年のための科学の祭典函館大会実行委員会

後援：文部科学省, 北海道, 函館市教育委員会, 北斗市, 北斗市教育委員会, 七飯町,
七飯町教育委員会, ブリティッシュ・カウンシル, 世界天文年2009日本委員会, 北海道新聞社,
函館新聞社, NHK函館放送局, NCV函館センター, FMいるか

函館開港150周年記念事業連携事業

サイエンス・サポート函館の事業は独立行政法人科学技術振興機構（JST）地域の科学舎推進事業
「地域ネットワーク支援」を受けて実施しています。

はこだて国際科学祭2009実施報告
2009年（平成21年）12月
発行：サイエンス・サポート函館　代表　美馬 のゆり
DTP：迎山美葉

お問い合わせ先
041-8655
北海道函館市亀田中野町116-2
公立はこだて未来大学内サイエンス・サポート函館事務局
金森 晶作（かなもり しょうさく）
e-mail: kanamori@fun.ac.jp
http://www.sciencefestival.jp/
TEL:0138-34-6527　FAX:0138-34-6383

目　次

01. はじめに …… 3
02. はこだて国際科学祭2009実績
2-1 入場者数, イベント数, 広報 …… 4
2-2 芸術性あふれる展覧会, 多彩なゲスト …… 5
03. 実施組織「サイエンス・サポート函館」 …… 6
04. はこだて国際科学祭2009の９つの特色 …… 7
4-1 科学をまちに出す
4-2 空間, ビジュアルデザインによる演出
4-3 アートから科学へ
4-4 大人の時間, 音楽と科学のライブ
4-5 専門家との気軽な対話
4-6 論議をよぶ問題も扱う
4-7 五稜郭タワーでアピール
4-8 とびっきりの科学エンターテインメント
4-9 子どもはやっぱり主人公
05. はこだて国際科学祭2009へのコメント …… 8
06. はこだて国際科学祭2009が生みだしたつながり …… 9
6-1 連携イベントとしてのアピール
6-2 同時開催による相乗効果
6-3 はこだて国際科学祭への会場協力
6-4 はこだて国際科学祭のプログラム製作
07. はこだて国際科学祭への出展方法 …… 10
7-1 会場を用意いただいての出展
7-2 事務局が用意した個別の会場へ出展
7-3 イベント集合型プログラムへ出展
08. 経費報告 …… 11
09. はこだて国際科学祭2009 ご協力者, ご協力団体一覧 …… 12
10. ウェブサイトの紹介 …… 13
11. はこだて国際科学祭を支える活動 …… 13
11-1 はこだて科学網
11-2 はこだて科学寺子屋
12. 連絡先リスト …… 14
13 今後の予定 …… 15

はこだて国際科学祭2009プログラム …… 16

01. はじめに

五稜郭タワーアトリウム会場

「ワールドプロセッサー」インゴ・ギュンター 108 の地球展を訪れた親子

はこだて国際科学祭は毎夏，9日間の会期にて北海道函館市で開催される科学のお祭りです。映画祭や音楽祭のように，地域の文化的な催しとして楽しむ総合的な科学イベントとして2009年8月にスタートしました。

スローガンは「科学を文化に」。

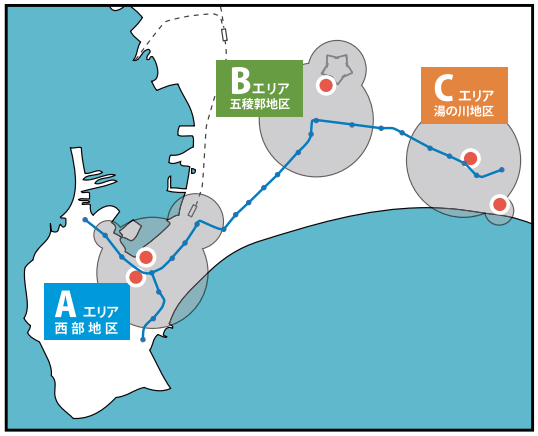
市民の日常的な生活の中に科学が文化的活動として根付いていくことを目指します。観光都市，交流都市である函館の先進的な試みとして，はこだて国際科学祭を実施していきます。

2009年は函館が世界に港を開いて150周年，進化論を唱えたダーウィン生誕200年，ガリレオの望遠鏡観測から150年の節目の年でした。はこだて国際科学祭2009ではメインテーマを「函館から地球の環境を考える」として，地球の環境，地球の未来を函館から考える催しを盛り込みました。

はこだて国際科学祭は，函館や科学に関わる多くの方々の協力が必要です。私たちは，函館に暮らす方々，観光に関わる方々，社会貢献を考える方々，科学技術の研究や産業に関わる方々，教育に関わる方々，アーティストの方々ほか，多くの方々と協働していきたいと考えています。

はこだて国際科学祭2010は「食」をメインテーマに2010年8月21日（土）から8月29日（日）の会期で実施します。

02. はこだて国際科学祭2009実績



路面電車沿線に位置する 3 地区，5 つの会場

はこだて国際科学祭 2009 を取り上げた新聞や雑誌

函館市地域交流まちづくりセンター会場前を通る
広告掲載電車

2-1　入場者数, イベント数, 広報

初めての試みながら, 人口28万人の函館市において多くの方々にその存在を知っていただくことが出来ました。

データ:

■ 入場者数　のべ8,500人（9日間）

■ 19プログラム, 71イベントの実施

■ ３地区，５会場で開催

[西部地区] 8月22日～30日　（のべ3,000人 入場）

- 函館市地域交流まちづくりセンター
- 金森ホール

[五稜郭地区] 8月29日　（のべ1,500人 入場）

- 五稜郭タワーアトリウム

[湯の川地区] 8月30日　（のべ4,000人 入場）

- 函館市民会館
- 函館市営熱帯植物園

■ 新聞掲載数　50回

- 全国版1回, 北海道全道版5回, 道南版42回, 業界紙2回; 函館新聞および北海道新聞道南版で特集記事掲載

■ 雑誌, 情報誌, 広報誌等掲載数　10回

■ 函館市電外面への広告掲載　2ヶ月間

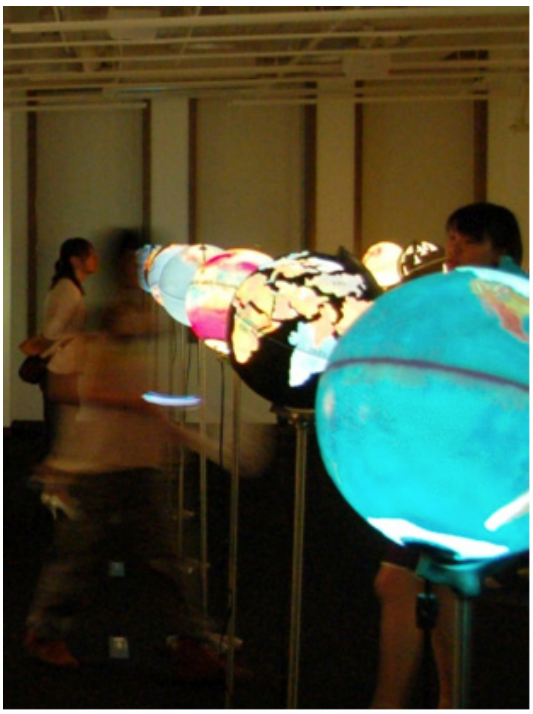
■ プログラム頒布　13万部

- 北海道新聞広告面として函館地域の購読者に全戸配布

■ 函館と近郊の全小, 中学校, 高校にチラシ, ニューズレターを計4万部配布

■ 特別番組の放送

- ケーブルテレビ局NCV（加入3万件超）
- 30分×2回の番組
- 2ヶ月間にわたりのべ120回放送



「ワールドプロセッサー」インゴ・ギュンター 108 の地球展

初来日のドクター・バンヘッドこと Tom Pringle 氏

2-2　芸術性あふれる展覧会, 多彩なゲスト

中心企画の 1 つとして, インゴ・ギュンター氏による現代アートの作品,「ワールドプロセッサー」インゴ・ギュンター108の地球展を開催しました（特別協力：九州大学感性融合デザインセンター）。地球儀をモチーフとした作品群は環境をはじめとする地球規模の問題をテーマとしています。全国の主に美術館で行われてきた展覧会を科学祭にて実施しました。

また, はこだて国際科学祭2009に国内外から多彩で魅力的なゲストを招聘することが出来ました。以下に一部の方々を紹介します（五十音順）。

■ あがた森魚 氏
（ミュージシャン）
[サイエンスライブ 宇宙をうたう]

■ 海部宣男 氏
（天文学者, 前国立天文台長）
[サイエンスライブ 宇宙をうたう]

■ ドクター・バンヘッド
（英国の著名なサイエンスエンターテイナー）
[ドクター・バンヘッド サイエンスショー]

■ 月僧秀弥 氏
（福井県坂井市立春江中学校教諭；科学の鉄人等で活躍する科学実験のパフォーマー）
[サイエンスショー]

■ 刑部育子 氏
（お茶の水女子大学准教授）
[サイエンストーク]

■ 目黒実 氏
（九州大学特任教授；子どもとアートについてのプロデューサー）
[科学夜話]

■ 吉川謙二 氏
（アラスカ大学；永久凍土研究者, 探検家）
[科学夜話]

03. 実施組織「サイエンス・サポート函館」

はこだて国際科学祭ディレクター 木村 健一

はこだて国際科学祭ディレクター 渡辺 儀輝

はこだて国際科学祭の実施には実行委員会組織「サイエンス・サポート函館」があたっています。函館市役所，市内複数の高等教育機関，市民活動団体等から委員が参加し，公立はこだて未来大学が運営事務局を務めています。

2010年度まで独立行政法人科学技術振興機構（JST）地域の科学舎推進事業地域ネットワーク支援を受けています。

■ サイエンス・サポート函館代表

美馬 のゆり（公立はこだて未来大学教授）

■ アートディレクター

高田 傑（東京藝術大学助教）

■ コーディネーター

金森 晶作（公立はこだて未来大学特別研究員）

■ はこだて国際科学祭ディレクター

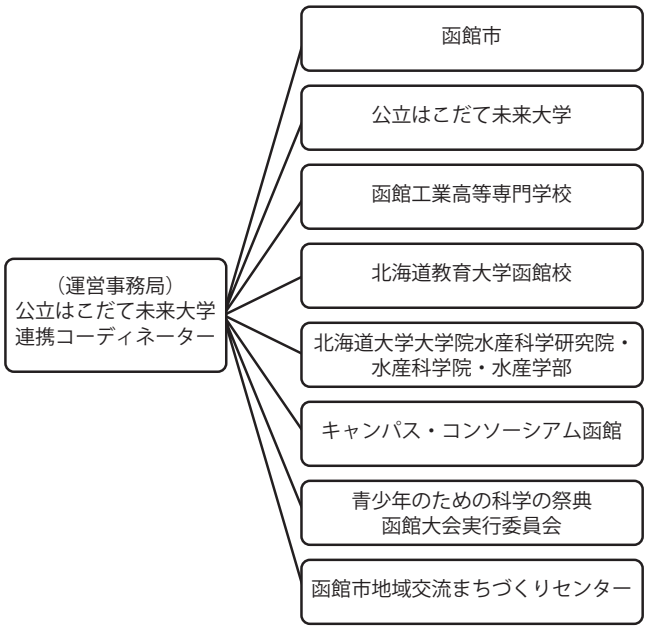
木村 健一（公立はこだて未来大学教授）

■ はこだて国際科学祭ディレクター

渡辺 儀輝（市立函館高校教諭；

青少年のための科学の祭典函館大会実行委員会）

＜サイエンス・サポート函館参加機関＞



04. はこだて国際科学祭2009の９つの特色

五稜郭タワーアトリウムでの科学屋台 2009

サイエンスライブ「宇宙をうたう」での対談

はこだて国際科学祭2009では初回ながら私たちが目指す科学祭の要素の多くを盛り込むことが出来ました。

4-1　科学をまちに出す

市民や観光旅行者が集う場所を会場に選びました。歴史的な街並みの旧市街地, 西部地区を大人向け, 五稜郭地区を観光旅行者向け, 湯の川地区を家族向けに設定しました。

4-2　空間, ビジュアルデザインによる演出

科学の祭りを演出するため, アートディレクターを配し, デザインにも注力しました。

4-3　アートから科学へ

「ワールドプロセッサー」インゴ・ギュンター108の地球展を開催し, アートに関心を持つ市民へのアプローチを図りました。

4-4　大人の時間, 音楽と科学のライブ

特に大人に向けた企画として, ミュージシャンあがた森魚氏と天文学者の海部宣男氏によるお酒も交えたライブを開催しました。

4-5　専門家との気軽な対話

専門家と素人の市民が科学についてカフェで対話する科学夜話を7日間にわたり実施しました。

4-6　論議をよぶ問題も扱う

高校生による科学と社会についての研究発表会「サイエンストーク」を行いました。

4-7　五稜郭タワーでアピール

観光旅行者が訪れる施設である五稜郭タワーアトリウムで, 北海道庁と函館市役所, 地域の大学, 博物館, NPOが科学屋台を出展しました。

4-8　とびっきりの科学エンターテインメント

世界的に有名な科学エンターテイナー, ドクター・バンヘッドの初来日公演を実現しました。

4-9　子どもはやっぱり主人公

実験教室等, 30以上の子どもや家族向けイベントを盛り込みました。

05. はこだて国際科学祭2009へのコメント

ユニフォームＴシャツを着用した科学夜話のスタッフ達

五稜郭タワーアトリウム会場の設営にあたるスタッフ達

いただいたコメントやブログ、新聞記事等での言及から、参加者から見たはこだて国際科学祭2009の様子をお伝えします。

全体について

会場の飾り付け，配布物のデザイン，スタッフのユニフォーム等が統一されており，科学祭の洗練されたイメージを参加者に伝えることに成功している。

[国立天文台 天文情報センター 懸秀彦 准教授]

どこも，観光スポットだったり，地域のお祭りが開かれていて，たくさんの人が集まる場所。かなりたくさんの人が，「へえ，科学祭？」という感じで自然にイベントに参加していた。

これですよこれ。

[毎日新聞社 科学環境部 元村有希子 記者]

理系白書ブログ 2009年8月30日より

「手作り感」にあふれていたのには，心温まる印象をもちました。

[北海道大学 大学院理学研究院 杉山滋郎 教授]

「ワールドプロセッサー」インゴ・ギュンター108の地球展について

今日，まちづくりセンターで見た科学アートは素晴らしかった！（中略）幻想的な空間だが，良く見ていくと瀕死の地球をつきつけられる。ぜひご覧になってください。

[函館市議会　竹花いくこ 議員]

ブログ：竹花いくこたんぽぽ通信 2009年8月23日より

サイエンスライブ「宇宙をうたう」について

前国立天文台長の海部宣男氏と，アーティストのあがた森魚氏が，謡い／歌い，語る，ライブショー。（中略）ともに函館で子ども時代を過ごしたお二人であるが，活躍する分野はまったく異なる。そんなお二人の，噛み合うような噛み合わないようなスリリングなトークは，「科学祭」ならではの出色の出し物だった。

[北海道大学 大学院理学研究院 杉山滋郎 教授]

ブログ：独り言つ 2009年8月29日より

ドクター・バンヘッドサイエンスショーについて

科学というと，堅苦しくて「ありがたい」けれど「おしつけがましい」「面白くない」ものが多いが，このショーは非常に完成度が高い。科学を離れてエンターテインメントとして成立している。

[公立はこだて未来大学 松原仁 教授]

北海道新聞2009年9月10日＜魚眼図＞より

06. はこだて国際科学祭2009が生みだしたつながり

湯の川地区函館市民会館にて同時開催された「ざいだんフェスティバル」

北海道新聞広告タブロイド版として発行されたプログラム

6-1　連携イベントとしてのアピール

科学やメインテーマである「環境」に関わるイベント，同時開催イベントを，連携イベントとして配布プログラム等でアピールしました。

【連携イベント一覧】

- おしょろ丸オープンハウス（8月16日開催）
- 北海道大学「未来の科学者養成講座」一般イベント「科学好き集まれ!」（8月22日開催）
- 第5回NPOまつり（8月30日開催）
- ざいだんフェスティバル（8月30日開催）
- 函館市営熱帯植物園（8月30日開催）
- はこだて・エコフェスタ2009（9月5日開催）

6-2　同時開催による相乗効果

函館市地域交流まちづくりセンター会場では市民活動団体が日頃の活動を紹介する「第5回NPOまつり」（同実行委員会主催）と，函館市民会館では，ステージイベント，縁日，フリーマーケット等が行われた「ざいだんフェスティバル」（函館市文化・スポーツ振興財団）と同時開催しました。相乗的な集客効果がありました。

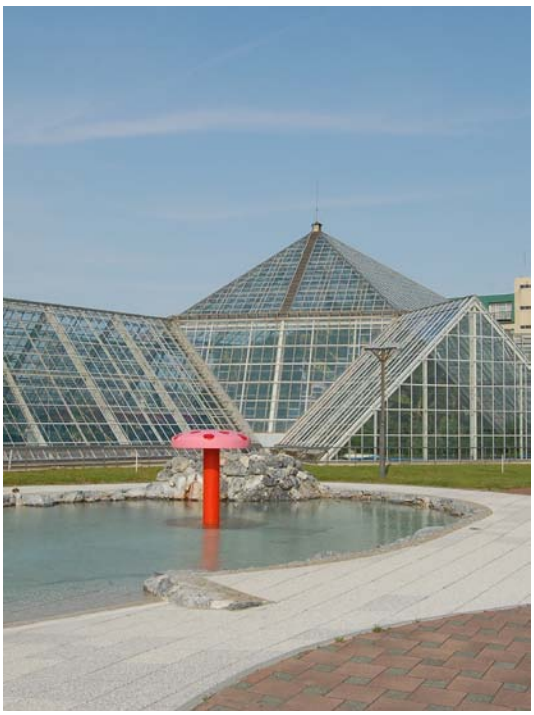
6-3　はこだて国際科学祭への会場協力

五稜郭タワーアトリウム会場は五稜郭タワー株式会社より，函館市民会館会場は函館市文化・スポーツ振興財団より無償で提供頂きました。また，科学夜話（サイエンスカフェ）の会場としてcaféオタジィラより特別営業にて協力いただきました。

6-4　はこだて国際科学祭のプログラム製作

北海道新聞社の協力により，はこだて国際科学祭2009のプログラムはタブロイド版の広告ページとして製作し，会場の他，函館地域の北海道新聞購読者に配布されました（発行部数：13万部）。

07. はこだて国際科学祭への出展方法



会場ごと参加いただいた函館市営熱帯植物園

サイエンスショーに登場したイカール星人

はこだて国際科学祭はサイエンス・サポート函館主催イベントの他，多くの方々の出展協力にて成り立っています。はこだて国際科学祭2009の例から出展の方法をご紹介します。

7-1　会場を用意いただいての出展

「昆虫学習会」は函館市営熱帯植物園の管理者であるNPO法人函館エコロジークラブに，はこだて国際科学祭の一環として同植物園でのイベントを企画，運営いただきました。

7-2　事務局が用意した個別の会場へ出展

以下のイベントは，サイエンス・サポート函館が準備した個別の会場にプログラムを提供いただいたものです。

【西部地区】

■ パナソニック環境学習プログラム

（企業の社会貢献活動）

■ 実験カーがやってくる@函館

（化学オリンピック日本委員会によるプロモーションを兼ねた活動）

■ Art Relay Project 2009

（作家グループによるワークショップ）

■ まちセン科学屋台2009

（地元の教材会社が科学教材を展示紹介）

【湯の川地区】

■ 青少年のための科学の祭典函館大会

（1999年から行われてきた恒例イベント）

■ 函館高専メカニズムフェスティバル

（1998年から行われてきた恒例イベント）

7-3　イベント集合型プログラムへ出展

イベント集合型プログラムに出展いただく場も用意いたしました。

【五稜郭地区】

■ 科学屋台2009

（行政，大学，市民活動団体等による5つの屋台が出展）

■ サイエンスショー

（大学，高専と地元企業による出展では函館観光産業用ロボットIKABOとイカール星人が登場）

【湯の川地区】

■ 青少年のための科学の祭典函館大会

（理科サークル，理科教員のグループ，企業や市民グループが合計24のブースを出展）

08. 経費報告

はこだて国際科学祭2009経費　（概算値）　　単位（万円）

サイエンス・サポート函館事務局共通経費	
イベント保険（共通会場分）	2
会場費	24
スタッフ謝金	32
印刷費および広報費	82
ユニフォーム制作費	26
ウェブサイト構築運営費	55
その他消耗品	1
イベント毎の経費	
「ワールドプロセッサー」インゴ・ギュンター108の地球展	110
サイエンスライブ「宇宙をうたう」	35
科学夜話	19
科学屋台2009	5
サイエンスショー（五稜郭地区）	13
ドクター・バンヘッド サイエンスショー	204
青少年のための科学の祭典函館大会	60
函館高専メカニズムフェスティバル	15
昆虫学習会	5
合計	**688**

09. はこだて国際科学祭2009 ご協力者, ご協力団体一覧

【五十音順, 敬称略】

- Art Relay Project
- 青山結
- アマチュア無線連盟渡島支部
- あがた森魚（ミュージシャン）
- 秋元哲（はこだて科学寺子屋集中講座受講生）
- 粟谷禎子（はこだて科学寺子屋記録スタッフ）
- 安東周作（はこだて科学寺子屋記録スタッフ）
- 猪本慎太郎（はこだて科学寺子屋記録スタッフ）
- 今井清介（今井保険事務所）
- HOH理科サークル
- NCV函館センター
- NPO法人NATURAS
- NPO法人函館エコロジークラブ
- FMいるか
- 大西由花（はこだて科学寺子屋記録スタッフ）
- 太田誠一（カフェやまじょう）
- 渡島理科教育研究会
- 海部宣男（天文学者）
- caféオタジィラ
- 株式会社イベント・コンベンション・プロ
- 株式会社学習研究社
- 株式会社近代科学社
- 株式会社シンプルウェイ
- 株式会社Narika
- 鎌田實
- 川嶋稔夫（公立はこだて未来大学教授）
- 河村梓（はこだて科学寺子屋記録スタッフ）
- 栗原秀幸（北海道大学大学院水産科学研究院准教授）
- 月僧秀弥（福井県坂井市立春江中学校教諭）
- ケニス株式会社
- 九州大学感性融合デザインセンター
- 刑部育子（お茶の水女子大学准教授）
- 公立はこだて未来大学プロジェクト学習2009 No. 8, No.13
- 公立はこだて未来大学報道部
- 公立はこだて未来大学木村健一研究室
- 公立はこだて未来大学美馬のゆり研究室
- 郷六 優輝（はこだて科学寺子屋記録スタッフ）
- 国際化学オリンピック日本委員会
- 小林商店
- 五稜郭タワー株式会社
- 財団法人北海道国際交流センター
- サイエンストーク発表者の皆さん（市立函館高等学校３年生）
- JSTイノベーションプラザ北海道
- 市立函館博物館
- Think the earthプロジェクト
- Stuart Sotozaki-Leech
- 外崎美保
- 高木剛
- 高木ユリア（アーティスト）
- 田辺大人（北海道大学高等教育機能開発総合センター）
- 谷口雅春（ライター）
- 田柳恵美子（公立はこだて未来大学特任准教授）
- 東京国際科学フェスティバル事務局
- 露口啓二（写真家）
- ドミニク・カスッジャ・バゲンダ（公立はこだて未来大学特任講師）
- ドクター・バンヘッド（Dr. Bunhead's Science Education）
- 成田勝英
- 南部美砂子（公立はこだて未来大学准教授）
- 根岸未来（はこだて科学寺子屋記録スタッフ）
- 函館市環境部リサイクル推進課
- 函館市経済部工業振興課
- 函館工業高等専門学校技術教育支援センター
- 函館工業高等専門学校ロボット研究会
- 函館五稜郭ロータリークラブ
- 函館市小学校理科教育研究会
- 函館市中学校理科研究会
- 函館市文化・スポーツ振興財団
- 函館新聞社
- 函館水産高等学校
- 函館タクシー株式会社 函館帝産バス
- 函館トヨペット株式会社
- ハコダテ150記録チーム
- 函館ラ・サール高等学校環境問題研究会
- パナソニック株式会社
- パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社
- 伴田由（はこだて科学寺子屋記録スタッフ）
- ブリティッシュ・カウンシル
- 北海道教育大学函館校マスコミ研究会
- 北海道高等学校文化連盟道南支部理科部
- 北海道高等学校理科研究会
- 北海道新聞社函館支社広告部
- 北海道総合政策部 科学IT振興局 科学技術振興課
- 北海道大学女性研究者支援室
- 北海道大学水産学部 広報PR委員会支援団体
  北水サイエンスアシスト
- 北海道大学 高橋是太郎研究室
- 北海道通訳アカデミー
- 北海道八雲養護学校
- 宮部好克（はこだて科学寺子屋記録スタッフ）
- 向井理美（はこだて科学寺子屋記録スタッフ）
- 迎山和司（公立はこだて未来大学准教授）
- 武藤悠助
- 目黒実（九州大学特任教授）
- 有限会社ともえ教材
- 吉川謙二（アラスカ大学フェアバンクス校）
- 吉田美里（はこだて科学寺子屋記録スタッフ）
- 吉野幸子（はこだて科学寺子屋記録スタッフ）
- 「ロボットフェス・インはこだて」市民の会

その他大勢の皆様

10. ウェブサイトの紹介

サイエンス・サポート函館ウェブサイト

サイエンス・サポート函館のウェブサイトでは，はこだて国際科学祭のプログラムの他，過去の催しの報告，函館近郊で予定されている科学関連イベントの情報，サイエンス・サポート函館が主催する講座やイベントのニュース，コーディネーターのブログ等を掲載しています。

はこだて国際科学祭の最新の情報はウェブサイトにてお知らせします。

http://www.sciencefestival.jp/

11. はこだて国際科学祭を支える活動

はこだて国際科学祭 2009 を取材するはこだて科学寺子屋記録スタッフ

11-1 はこだて科学網

通年の活動として，科学デモンストレーションの出張展示や地域の科学イベントへの支援を通じたネットワーク作り，函館と近郊の科学関連情報の収集と発信を行っています。

詳細はこちら　http://www.sciencefestival.jp/network/

11-2 はこだて科学寺子屋

はこだて国際科学祭をはじめとする地域の科学コミュニケーション活動を支える人材の育成講座を開催しています。はこだて国際科学祭2009では受講者が記録スタッフとしてイベントの取材とレポートの執筆を行いました。

詳細はこちら　http://www.sciencefestival.jp/school/

レポートはこちら　http://blog.livedoor.jp/sciencefestival/

12. 連絡先リスト

ブログ サイエンス・サポート函館コーディネーター活動日誌

■ **全体のお問い合わせ先**

- 金森 晶作（かなもり しょうさく）
  サイエンス・サポート函館コーディネーター；
  公立はこだて未来大学特別研究員
  http://www.sciencefestival.jp/
  e-mail: kanamori@fun.ac.jp
  TEL:0138-34-6527　FAX:0138-34-6383

■ **はこだて国際科学祭ディレクター**

- 木村 健一　（きむら けんいち）
  公立はこだて未来大学教授
  e-mail: kimura@fun.ac.jp
- 渡辺 儀輝　（わたなべ よしてる）
  青少年のための科学の祭典函館大会実行委員会
  e-mail: w_teru@mb.infosnow.ne.jp

■ **はこだて国際科学網担当**

- 本村 真治　（ほんむら しんじ）
  函館工業高等専門学校准教授
  e-mail: honmura@hakodate-ct.ac.jp

■ **はこだて科学寺子屋担当**

- 渡辺 保史　（わたなべ やすし）
  北海道大学科学技術コミュニケーター養成ユニット特任准教授
  e-mail: wtnb@costep.hucc.hokudai.ac.jp

13. 今後の予定

ドクター・バンヘッドサイエンスショーのスタッフ達

はこだて国際科学祭の象徴的な空間となった
五稜郭タワーアトリウム会場

2009年12月12日（土）

はこだて国際科学祭2010キックオフ・フォーラム 開催

2010年6月（予定）

はこだて国際科学祭2010のプログラム発表

2010年8月21日（土）～29日（日）

はこだて国際科学祭2010 開催

テーマ：＜食＞

2010年12月（予定）

はこだて国際科学祭2011キックオフ・フォーラム 開催

2011年6月（予定）

はこだて国際科学祭2011プログラム発表

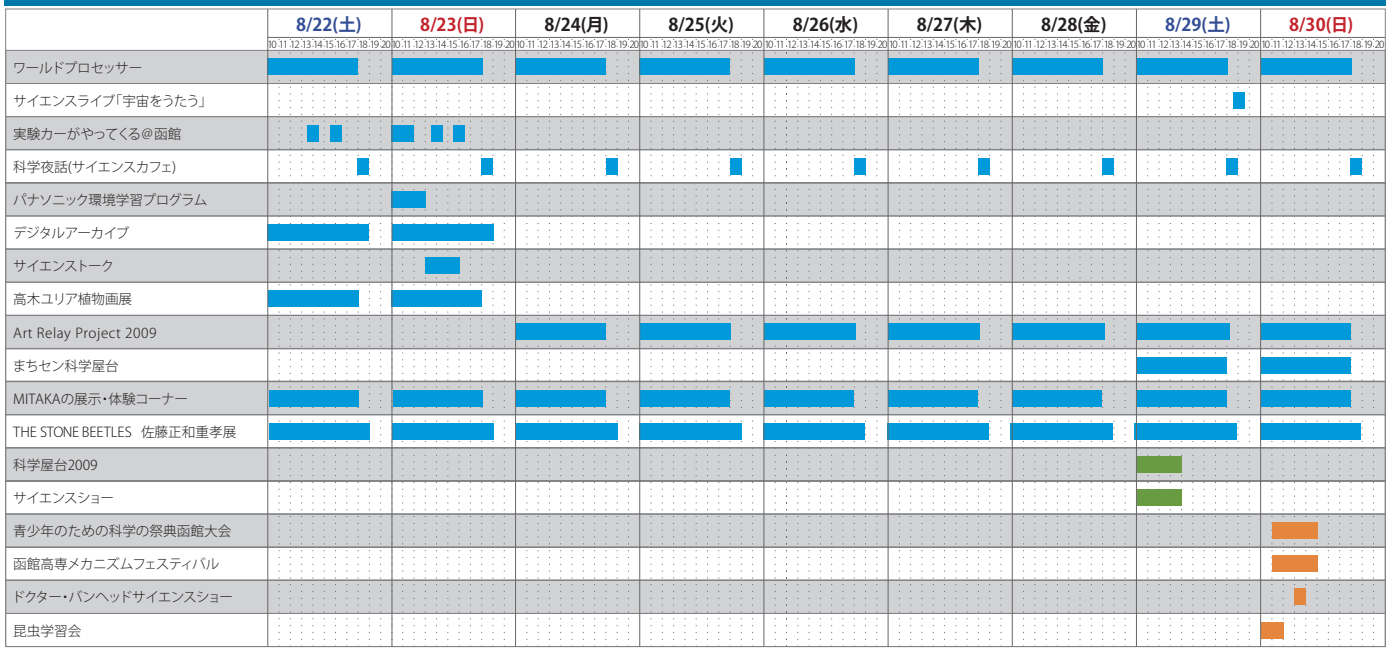
2011年8月20日（土）～28日（日）（予定）

はこだて国際科学祭2011 開催

テーマ：＜健康・医療＞

はこだて国際科学祭
www.sciencefestival.jp

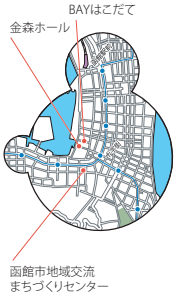
イベントスケジュール



※事前申し込みが必要なイベントもあります。当日空席がある場合は、http://www.sciencefestival.jp/でお知らせします。ご確認のうえ、直接会場におこし下さい。(先着順で受付します。)

制作:遠藤みか、宮武志保、SSH20090821/KLAB@FUN

Aエリア 西部地区



「ワールドプロセッサー」インゴ・ギュンター108の地球

期日:2009/8/22(土)〜8/30(日)10:00〜18:00(休館日無し)
会場:函館市地域交流まちづくりセンター2階フリースペース
対象:子どもから大人まで　入場料:無料
特別協力:九州大学感性融合デザインセンター

Worldprocessor　2005 by Ingo Günther and World Space Corporation
写真提供:九州大学感性融合デザインセンター

サイエンスライブ「宇宙をうたう」

期日:2009/829(土)18:30〜20:30(開場18:00、開演18:30)
会場:金森ホール　定員:200名
出演:海部宣男氏(天文学者・前国立天文台長)
　　あがた森魚氏(アーティスト)
入場料:無料
募集:当日先着順にて受付いたします。
主催:南北海道学術振興財団

海部宣男氏

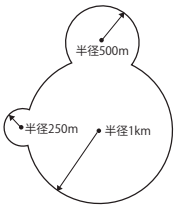
あがた森魚氏

科学夜話(サイエンスカフェ)

期日:2009/8/22(土)〜8/28(金)18:00〜19:00
会場:函館市地域交流まちづくりセンター1階　cafeオタジィラ
対象:一般市民(大人の時間、大人の内容)
定員:各回20名程度　参加費:飲料代
募集:事前申し込みが必要です。http://www.sciencefestival.jp/で空席情報を確認してください。
8/22(土)目黒実氏「ワールドプロセッサーとインゴ・ギュンター108の地球展」
8/23(日)川嶋稔夫氏「市民が編み上げるデジタルアーカイブ」
8/24(月)露口啓二氏「ON-沙流川-」
8/25(火)高木ユリア氏「北海道のキノコと自然環境」
8/26(水)迎山和司氏「自然エネルギーによるアート」
8/27(木)吉川謙二氏「極地探検と凍土観測」
8/28(金)ドミニク・カスッジャ・バゲンダ氏「食の安全性」

はこだて国際科学祭2009プログラム

A エリア 西部地区



実験カーがやってくる@函館

期日:2009/8/22(土)、8/23(日)
会場:函館市地域交流まちづくりセンター2階研修室B
対象:小学校高学年～中学生　定員:各回20名　参加費:無料
実験教室1:感光性樹脂を使ったスタンプづくり。水に溶ける不思議なプラスチックは光にあたると固まります。自分のオリジナルなスタンプを作ってみませんか？
8/22(土)13:30～14:30　8/23(日)10:00～11:00、13:30～14:30
実験教室2:光のワンダーランド身近なものが光ったり、色が変わる実験を体験し、物質と光の関係を学びます。
8/22(土)15:30～16:30　8/23(日)11:00～12:00、15:30～16:30
内容:国際化学オリンピックの日本開催を記念して、実験キットを積んだ車がやってきます。楽しみながら、実験力をアップしましょう。
募集:ホームページで空席情報を確認してください。http://www.sciencefestival.jp/

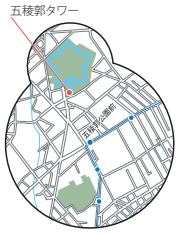
パナソニック環境学習プログラム

期日:2009/8/23(日)10:00～12:00　会場:函館市地域交流まちづくりセンター2階研修室B
対象:小学校高学年～中学生　定員:20名　参加費:無料
内容:講義やMy水筒作りを中心にした環境学習プログラムを実施します。ペットボトルを冷蔵庫の真空断熱材U-Vacua(ユーバキュア)で包み、保温性の高いMy水筒を作ります。
イベント協力:パナソニック株式会社
募集:ホームページで空席情報を確認してください。http://www.sciencefestival.jp/

サイエンストーク

期日:2009/8/23(日)13:00～16:00
会場:函館市地域交流まちづくりセンター2階研修室A
対象:高校生以上　参加費:無料
内容:市立函館高等学校3年生の科学分野の課題研究論文の成果発表会を実施します。

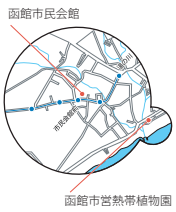
B エリア 五稜郭地区



科学屋台2009

期日:2009/8/29(土)10:00～14:00
会場:五稜郭タワー1階タワーアトリウム
対象:子どもから大人まで
入場料:無料
内容:科学屋台8ブースによる実験体験と紹介コーナー。
出展者：NPO 法人NATURAS
JST イノベーションプラザ北海道
北海道総合政策部 科学IT振興局 科学技術振興課
函館市経済部工業振興課
市立函館博物館
北海道大学水産学部 広報PR委員会支援団体 北水サイエンスアシスト
函館工業高等専門学校
公立はこだて未来大学
特別展示：函館ラ・サール高等学校環境問題研究会による「地球の平均温度100年横断幕」

C エリア 湯の川地区



初来日!ドクター・バンヘッドサイエンスショー

期日:2009/8/30(日)　会場:函館市民会館大ホール
対象:子どもから大人まで　定員:1000名　入場料:無料
詳細はhttp://www.sciencefestival.jp/index.htmlをご覧ください。
主催:公立はこだて未来大学
共催:ブリティッシュ・カウンシル
JSTイノベーションプラザ北海道
協力:㊫イベント・コンベンション・プロ、
北海道通訳アカデミー、函館タクシー株式会社 函館帝産バス

青少年のための科学の祭典函館大会

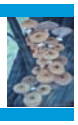
期日:2009/8/30(日)11:00～15:00
会場:函館市民会館3階
対象:子どもから大人まで
参加費:無料

街の記憶を編み上げるデジタルアーカイブ

091211

期日:展示期間2009/8/22(土)～8/23(日)10:00～18:00
写真収録期間8/22(土)～8/30(日)は写真の収集、登録を行います。
会場:函館市地域交流まちづくりセンター1階
対象:子どもから大人まで　入場料:無料

「北海道のキノコと自然環境」高木ユリア植物画展



期日:2009/8/22(土)、8/23(日)10:00～18:00
会場:函館市地域交流まちづくりセンター1階
対象:子どもから大人まで　入場料:無料

Art Relay Project 2009

期日:2009/8/24(月)～8/30(日)10:00～18:00
ネットワーク上のワークショップは2009/7/10(金)よりスタートしています。
(http://artrelay.net/にアクセスして参加できます。)
会場:函館市地域交流まちづくりセンター2階研修室A　対象:高校生以上　参加費:無料

MITAKAの展示・体験コーナー　東京国際化学フェスティバルの紹介ポスター展示

期日:2009/8/22(土)～8/30(日)10:00～18:00
会場:函館市地域交流まちづくりセンター2階研修室B
対象:子どもから大人まで　入場料:無料

まちセン科学屋台2009

期日:2009/8/29(土)、8/30(日)10:00～18:00
会場:函館市地域交流まちづくりセンター1階　対象:子どもから大人まで　入場料:無料
提供:有限会社ともえ教材
出展:株式会社学習研究社(Gakken)、株式会社 Narika、ケニス株式会社、株式会社近代科学社
内容:主に学校・教育機関向けに製作、販売されている理科教材を出展します。

THE STONE BEETLES 佐藤正和重孝展

期日:2009/8/8(土)～8/30(日)9:30～19:00
会場:Bay Gallery(BAYはこだて内)　入場料:無料
内容:函館出身の彫刻家・佐藤正和重孝が甲虫たちを引き連れて故郷に帰ってくる。どんな甲虫が現れるのか、どうぞお楽しみに。函館初個展。

サイエンスショー

期日:2009/8/29(土)10:00～14:00
会場:五稜郭タワー1階　タワーアトリウムステージ
対象:子どもから大人まで
出演:「科学の鉄人」決勝進出4回 月僧秀弥(げっそうひでや)氏
NCV「なぜ先生のワクワク実験しまSHOW」渡辺儀輝 氏
函館工業高等専門学校、公立はこだて未来大学のIKABO(イカロボット)1号機、2号機

函館高専メカニズムフェスティバル

期日:2009/8/30(日)11:00～15:00　会場:函館市民会館3階
対象:子どもから大人まで　参加費:無料

昆虫学習会

期日:2009/8/30(日)10:00～12:00 会場:函館市営熱帯植物園
対象:小学校高学年以上　定員:100名
参加費:函館市営熱帯植物園入場料(大人305円、小中学生100円)
講師:林原和哉氏
募集:参加希望の方は(0138-57-7833)植物園までお問い合わせ下さい。
主催:函館エコロジークラブ
http://www3.ncv.ne.jp/~sige1618

はこだて国際科学祭 広告掲載車走行中!

会場には路面電車で

●はこだて国際科学祭へのお問い合わせ先
金森晶作(かなもりしょうさく)
サイエンス・サポート函館コーディネーター、公立はこだて未来大学特別研究員
041-8655　函館市亀田中野町116-2　公立はこだて未来大学
e-mail:kanamori@fun.ac.jp　http://www.sciencefestival.jp/

はこだて国際科学祭2009プログラム